

フィルムセンター所蔵日本映画選集 —— 映画カメラマンの魅力(1921年~44年)

劇映画の製作に係る数多くのスタッフの中で、カメラマンは、脚本家や監督の意図を汲んで「物語」を「絵」に移し変え、他のスタッフと共にふさわしい場面の雰囲気を醸成し、俳優の美しさや個性を引き出し、光と影と色彩と動きの美を追求する、いわば映像技術の最高責任者であり、時に「監督の女房役」とも「光の画家」とも呼ばれています。日本の映画カメラマンも草創期からより高度な映像を実現するために努力と苦闘を重ね、世界に誇りうる優れた映像美を作り上げてきました。その伝統はカメラマン自身や映画会社の徒弟的なシステムを通じて脈々と受け継がれ、今日の日本映画界、さらには世界中の優秀な技術者にも大きな影響を与えています。

フィルムセンターでは、昨年六月から八月にかけて、「撮影監督 宮川一夫特集」の企画上映を行ない、カメラマン評価に一石を投じましたが、今回は再び日本映画史に残る多くの名カメラマンの内から五の方々を選び、その戦前作品（それぞれ四本ずつ）にスポットをあててみました。松竹初期のバイオニア水谷文次郎（至宏）氏（1896年生まれ）、衣笠貞之助作品等に活躍し、戦後は大映でも数多くの名作を手がけた杉山公平氏（1899年～1960年）、ハリウッドの技術を導入し、多くの巨匠達に信頼された三村明氏（1901年生まれ）、松竹、新興、大映等で優れた娯楽映画に腕の冴えをみせた名手高橋通夫（興吉）氏（1905年生まれ）、マキノ、成瀬、黒澤、新藤らの諸作に忘れ難い映像を提供し続けた伊藤武夫氏（1907年～1978年）、これら各氏の個性的でしかも破綻のない撮影技術が、現在に比べてフィルムやカメラの条件が劣っていた往時にあって、日本映画を国際的なレヴェルにまで押しあげていた事実は改めて瞠目するに値すると言いましょう。

各カメラマンの映像の個性を研究する上でも、また「宮川一夫特集」では見ることのできなかった、戦前の松竹や東宝の技術を考察する上でも、恰好の機会かと思われますので、広く映画愛好家、研究者の方々の御鑑賞をおすすめ致します。

1985年11月 フィルムセンター

- 上映は竹橋の東京国立近代美術館講堂で行ないます。当会場へは地下鉄・東西線・竹橋駅下車、竹橋方面・毎日新聞社出口が便利です。
- 上映は土曜日・日曜日の午後1時からと午後3時から行ない、それぞれ入れ替え制です（但し、12月22日(日)の「支那の夜」にかぎり、12時30分の開映となります）。
- 開場は上映開始時刻の30分前で、先着順にて定員270名に達し次第締め切ります。
- 料金は、一般300円、学生200円、中学生以下は150円です。この料金は当日1回の上映のみ有効です。

期 日	題 名	製作年・会社	監 督	出 演 者
-----	-----	--------	-----	-------

〔水谷文次郎(至宏)選集〕

12月7日(土)1時	路上の靈魂(無声・85分)	1921年・松竹キネマ研究所	村田 実	小山内薰、東郷是也(鈴木伝明)、沢村春子
3時	進軍(無声・117分)	1930年・松竹蒲田	牛原 虚彦	鈴木伝明、田中絹代、藤野秀夫、鈴木歌子
8日(日)1時	マダムと女房(57分)	1931年・松竹蒲田	五所平之助	渡辺篤、田中絹代、市村美津子、伊達里子
3時	上陸第一歩(87分)	1931年・松竹蒲田	島津保次郎	水谷八重子、岡譲二、奈良真養、河村黎吉

〔杉山公平選集〕

14日(土)1時	雪之丞変化・総集編(97分)	1935年・松竹京都	衣笠貞之助	林長二郎、嵐徳三郎、高堂国典、千早晶子
3時	月夜鶴(100分)	1939年・松竹京都	井上金太郎	高田浩吉、飯塚敏子、藤野秀夫、富本民平
15日(日)1時	元禄忠臣蔵・前篇(111分)	1941年・興亜映画	溝口 健二	河原崎長十郎、中村翫右衛門、河原崎国太郎、
3時	元禄忠臣蔵・後篇(106分)	1942年・松竹京都	溝口 健二	嵐芳三郎、海江田譲二、山岸しづ江、三浦光子

〔三村 明選集〕

21日(土)1時	人情紙風船(85分)	1937年・P C L 前進座	山中 貞雄	河原崎長十郎、中村翫右衛門、中村鶴蔵
3時	綴方教室(85分)	1938年・東 宝	山本嘉次郎	高峰秀子、小高まさる、徳川夢声、清川虹子
22日(日)12時30分	支那の夜(127分)	1940年・東 宝	伏水 修	長谷川一夫、李香蘭、藤原鶴太、服部富子
3時	姿三四郎(77分)	1943年・東 宝	黒澤 明	大河内伝次郎、藤田進、轟夕起子、月形竜之介

〔高橋 通夫(興吉)選集〕

1月11日(土)1時	女学生と与太者(無声・81分)	1933年・松竹蒲田	野村 浩将	磯野秋雄、水久保澄子、三井秀男、阿部正三郎
3時	女医絹代先生(93分)	1937年・松竹大船	野村 浩将	田中絹代、阪本武、佐分利信、吉川満子
12日(日)1時	モンペさん(72分)	1944年・大 映	田中 重雄	宇佐美淳、徳川夢声、月丘夢路、真山くみ子
3時	父子桜(75分)	1944年・大 映	小石 栄一	水島道太郎、月丘夢路、若原雅夫、沢村アキオ

〔伊藤 武夫選集〕

18日(土)1時	鶴八鶴次郎(87分)	1938年・東 宝	成瀬巳喜男	長谷川一夫、山田五十鈴、藤原釜足、大川平八郎
3時	エノケンの頑張り戦術(73分)	1939年・東 宝	中川 信夫	榎本健一、宏川光子、小高たかし、如月寛多
19日(日)1時	昨日消えた男(88分)	1941年・東 宝	マキノ正博	長谷川一夫、山田五十鈴、徳川夢声、高峰秀子
3時	家光と彦左(88分)	1941年・東 宝	マキノ正博	長谷川一夫、吉川緑波、鳥羽陽之助、黒川弥太郎

会場 東京国立近代美術館・講堂 千代田区北の丸公園3 地下鉄・竹橋(東西線)下車

お問い合わせ 東京国立近代美術館 フィルムセンター 中央区京橋3-7-6 ☎561-0823